

平塚市行政改革推進委員会(事業評価)の結果について

事業No.	9							
事業名	観光事業			所管課	商業観光課			
判定結果	見直し		傍聴者数	30人				
判定内訳	現行 どおり	1	見直し	7	国・県	0	廃止	0

事業評価シートの記載内容

【委員長】 見直し…事業内容を見直すべき

・事業効果(成果)の意識があまりにも乏しいので、目標値を明示して達成率を公表すべき。(経済効果を何で測るか。販売額?雇用数?)

【副委員長】 見直し…平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき

・活動指標、成果指標をしっかりと設定してそれをフォローすべき。
 ・経済を活性化させることが最終目的。ならば、観光の振興を図り、地元はどうやって金を落としていただくかの作戦もセットで。
 ・市としては、経済活性化の全体像(作戦)をきちんと作るべき。

【A委員】 見直し…事業内容を見直すべき

・観光資源の発掘について、平塚市として、七夕祭りの再定義を含めた上で長期的視野によるグランドデザインを描いたうえで、観光協会への関与をしてほしい。
 ・マスコミを有効活用した積極的かつ能動的な情報発信に努力してほしい。

【B委員】 見直し

・市の観光事業の中で、観光協会への補助金、委託金を中心となっているが、そのお金が観光振興につながっているのかに対して疑問がありました。
 ・婚活ビジネスなど代表的な事業を育てられるようインセンティブを付与する仕組みが必要なように思います。

【C委員】 現行どおり…事業費を削減するべき。事業内容を見直すべき。

・観光協会の法人化に伴い、自主的活動の後押しをするような体制で市は対応すべきと思う。
 ・観光資源が乏しい市としては、助成をしてもそれなりの成果は期待できないと思う。県の補助金などはあると思うが、予算があまりにも大きくなっている。市民の意識も低いようだ。

【D委員】 見直し…成果に結びつく方法になっていないため、方法を見直すべき。

・観光協会の自主を早めるために何が必要なか順位を付けるべき。まずイベントありきでは組織は育たない。まして、NPO法人を育てるために県の予算を取って大金を使うのは筋違い。他に育てる地元の団体があるのでは。目先にとらわれるのはやめた方がよい。

【E委員】 現行どおり

・更に積極的なアクションを期待する。

【F委員】 見直し

・PRは十分できていると思うが、事業や市の特徴分析を行い、各産業と連携を広げてもらいたい。